

社協だより

こころ

・KOKORO・

手と心
つないで築く
京丹後

第113号
令和8年9月25日発行



みんなで楽しむ秋の収穫

(久美浜保育所:久美浜町の「梨狩り山開き」に参加)

目次

P2～P3 日常的に防災を意識する

P4 夏季特別版あそびの広場

P5 ふくじゅ施設長紹介／赤い羽根共同募金

P6 第75回京都府社会福祉大会

P7 地域共生社会に向けた取組

P8 お知らせ

日常的に防災を意識する習慣を身につけよう 災害に備えて今できること

令和9年3月7日で、丹後半島で発生した北丹後地震から100年が経過するのにあたり、近年、国内や世界で頻発する自然災害を目の当たりにして、今一度、災害への備えを見直す必要があります。

最近では、7月28日に発生した「2026年熊本地震」や8月13日からの「令和8年8月千葉豪雨」、そして8月下旬から9月上旬にかけて石川県や福井県に「レベル5・大雨特別警報」が発令されたほか、ネパールなど世界でも大きな自然災害が発生しました。

特に、熊本地震では電気や水道などライフラインが途絶し、避難所へ身を寄せる人のほか自家用車などを使った車中泊による避難を選択した人がありました。しかし、車中泊は季節により熱中症が心配されるなど、新たな対応が求められています。

車中泊という避難

災害が発生したとき、避難先は避難所だけでは限りません。自宅の安全が確保されていれば自宅で過ごす「在宅避難」や、親戚・知人宅へ避難するなど、被害の状況や家族の事情に応じて、さまざまな避難のかたちがあります。

その中の一つが、車の中で避難生活を送る「車中泊」です。車中泊は、プライバシーを確保しやすく、家族やペットと一緒に過ごしやすいなどのメリットがあります。また、避難所での生活が難しい人にとって、一つの選択肢となる場合もあります。

一方で、車中泊には命に関わる危険もあります。車の中で長時間過ごす、狭い車内で同じ姿勢になりやすく、足を動かす機会も少なくなりやすくなります。こうした状態が続

くと、足の血管の中に血栓ができ、それが血流に乗って肺の血管に詰まると、呼吸が苦しくなったり命に関わる可能性があります。

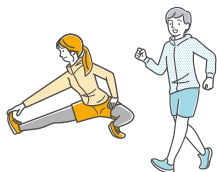
これが「エコノミークラス症候群」と言われるもので、平成16年に発生した新潟県中越地震や平成28年に発生した熊本地震では、車中泊をしていた人がエコノミークラス症候群で亡くなる事例も確認されています。

さらに、夏の暑さや冬の寒さ、トイレの確保など、さまざまな課題があるほか、エンジンをかけたままにすることで車内に排気ガスが充満する恐れもあります。

車中泊を選ぶこと自体が悪いものではありません。自分や家族に合った避難方法を考え、それぞれどのような危険があるのかを知り、日頃から備えておくことが大切です。

車中泊をするときに気をつけたいこと

①こまめに体を動かす



1～2時間に1回は足を伸ばしたり、軽く歩いたりしましょう。

②水分をとる



のどが渇く前に、こまめに水分をとりましょう。

③トイレを備える



携帯トイレや消臭袋などを準備しておきましょう。

④暑さ・寒さに備える



夏は日よけ対策・冷感グッズを、冬は毛布やカイロを備えておきましょう。

⑤安全な場所で過ごす



土砂災害や浸水の危険がある場所を避け、トイレや水が利用できる場所を選ぶと安心です。



被災した地域や人への支援

被災した人の暮らしでは「家中を片付けたい」「家具を動かしたい」「泥を出したい」など、一人では対応することが難しいさまざまな困りごとが生まれます。

本会では、災害が発生した際に被災した人の生活再建を支えるため、京丹後市災害対策本部からの要請により災害ボランティアセンターを設置・運営します。

災害ボランティアセンターでは、被災した人や地域の人から困りごとを聞き取り、必要な支援を整理するとともに、ボランティアの募集・受付や活動先の調整などを行います。

また、災害時に円滑に支援が届けられるよう、本会では平時から災害に備えた準備をしています。京都府災害ボランティアセンター等の訓練や研修に参加し、そこで得た知識を運用マニュアルに活かすとともに、定期的に実際の運営を想定した訓練を実施しており、よりよい災害ボランティアセンターの運営を目指しています。



訓練で最新の運営方法や知識を学ぶ



段ボールベッドの寝心地を体感する来場者

家庭でできる災害への備え

8月30日に弥栄小学校グラウンドで実施された京丹後市総合防災訓練では、段ボールベッドの体験と非常用持ち出し品の展示を行いました。

季節によって必要なものを入れ替えることや、水や食料の賞味期限を確認することなど、日頃からの備えの大切さを来場者に伝えました。

また、9月5日、網野町内の小学校に通う子どもたちが、さまざまな体験活動を通して仲間づくりを行う網野地域公民館主催の「網野町ウィークエンド事業」で、普段の食品や日用品を少し多めに買い置きし、使った分を買い足すローリングストックの方法と、備蓄品である乾パンを活用したおやつ作りの講習を行いました。

本会では、出前講座などを通じて地域住民が防災について学ぶ機会づくりに取り組み、日頃から災害に備えることの大切さを伝えていきます。



乾パンを活用したおやつをつくる子どもたち

夏季特別版「あそびの広場」

子どもたちの「遊びたい！」
保護者の「安心して遊ばせたい！」をかたちに

本会では、厳しい暑さが続く夏に子どもたちが安心して遊べる場を提供するため、7月19日から8月9日までの毎週日曜日、夏季特別版「あそびの広場」を計4回開催しました。延べ854人の子どもと保護者が、大型遊具や感触遊び、工作、車、積み木などの遊びを楽しみ、会場は子どもたちの笑顔と元気な声に包まれました。

また、中学生や高校生を含む67人のボランティアが、子どもたちの見守りや、読み聞かせ、工作などの体験を寄り添いながらサポートし、さまざまな場面で会場を盛り上げました。



遊びに夢中な子どもたち

利用者からの意見

開催期間中に、利用者アンケートを実施し56件の回答がありました。

参加した理由として最も多かったのは、「子どもが遊べる場所が少ない」で44件でした。続いて、「興味のある遊び・体験があった」「開催日時や場所が都合よかった」がそれぞれ31件、「親子で楽しめそうだった」が23件でした。

また「暑い中でも子どもを安全に遊ばせられる場所を探していた」といった声もあり、安心して過ごせる場の必要性が感じられました。

特に楽しかった遊びでは、「大型遊具」が45件、「工作・体験」が29件、「感触遊び」が24件となり、家ではなかなかできない遊びや、体を思い切り動かせる遊びが人気を集めました。

他には「いろいろな遊びがあったて、子どもが帰りたくないと言った」「子どもが帰りたい」「学生のお姉さんと一緒に遊べたことが楽しかった」など、ボランティアとの交流を楽しむ声も寄せられました。



中学生ボランティアと一緒に楽しく工作

「また開催してほしい」の声も

今回の満足度については、「とても満足」が31件、「満足」が22件で、回答者の約95%の人から「満足」以上の回答が得られました。

一方で、「もっと広い場所で開催してほしい」「人が多く会場が暑かった」「小学生の高学年も楽し

める場所があると嬉しい」など、今後の開催に向けた貴重な意見もありました。

開催期間中、多くの家族が複数回来場していたことから、人々とのつながりを感じながら、子どもが安心して思い切り遊べる場の常設が求められていることがわかりました。

これからも、子どもたちと保護者が安心して楽しく過ごせる場づくりを、子育て支援に取り組むさまざまな団体と協力し合い進めていきます。



ボランティアによる紙芝居の読み聞かせ

京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ

菅谷施設長就任あいさつ



京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ

施設長 菅谷 文子

令和8年8月1日より、京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅの施設長に就任いたしました。

当施設は「長寿のまち」京丹後市の唯一の老人保健施設として平成11年に開設し、住民の皆様に見守られ、この町をつくりあげ、高齢となられた方々の充実した1日を支えて参りました。

私も施設長としてその一員に加えていただきました。医師として医療面での充実はもとより、地域での医療・介護での連携に尽力したいと考えております。

老人保健施設は在宅復帰への中間施設としての位置づけではありません。



京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ

ますが、ご利用者、ご家族そして地域の皆様の生活を支える場になるようスタッフ一同力を合わせております。

介護が必要になったらふくじゅを利用したい、あるいはここで働きたい、高齢者の生活を支えたいと思っただけの施設となるよう微力ですが、努めてまいります。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

じぶんの町を
良くするしくみ

赤い羽根

共同募金



本会では、京丹後市共同募金委員会からの共同募金配分金と、市民などから寄せられた寄付金及び会費を活用し、「ふれあい居場所づくり助成」と「福祉委員活動助成」の地域福祉活動支援事業を行っています。

ふれあい居場所づくり助成は、地域住民の孤立や閉じこもりを防ぐため、定期的に集まることで仲間づくりやつながりづくりを進める市民団体に対し、活動に必要な経費の一部を、そして福祉委員活動助成は、市内の区または連合区等を範囲として活動する福祉推進組織等に対し、交流事業や友愛訪問、健康教室などの活動に必要な経費の一部を助成しています。

市民や企業から寄せられた共同募金は、2つの事業の主要な財源となっており、私たちが暮らす地域の福祉活動に活用され

ています。

今年も10月から赤い羽根共同募金運動が始まります。皆さまからのあたたかいご支援ご協力をお願いします。

活動の拠点	ふれあい居場所づくり助成								福祉委員活動助成		
	実施数	対象別内訳						年間開催回数	区域数	年間事業数	年間参加予定人数
		子育て	児童青少年	障害者(児)	高齢者	区民	全般(広域)				
峰山	37	4	0	0	8	22	3	300	28	50	5,294
大宮	24	9	0	2	8	5	0	337	12	31	947
網野	23	5	1	0	5	12	0	212	12	13	697
丹後	22	0	0	1	1	20	0	148	21	37	1,857
弥栄	13	0	0	0	1	12	0	120	15	26	1,713
久美浜	24	3	4	0	3	14	0	290	31	37	2,184
計	143	21	5	3	26	85	3	1,407	119	194	12,692

令和8年度 地域福祉活動支援事業による地域活動概要

第 75 回

京都府社会福祉大会

9月4日に京都府民総合交流プラザで、第75回京都府社会福祉大会が開催され、長年にわたり社会福祉事業に貢献された個人・団体が表彰されました。また、今年は共同募金運動80回記念の年にあたり、長年継続して共同募金に貢献された企業へ特別感謝状が贈られました。

京丹後市の受賞者及び団体等は以下のとおりです。(順不同・敬称略)



京都府社会福祉事業・ボランティア功労者知事表彰

◎社会福祉事業従事者

(あしぎぬ福祉会)	中西 恵子	谷川 洋子	蒲田 真由美	仙頭 正視	岡田 友江	酒井 美穂
	田中 和子	室井 誠	井浪 利和			
(はしうど福祉会)	松田 智行	久保 牧子	谷岡 由利子	福井 利郎	藤原 千晶	坂田 明義
(みねやま福祉会)	川崎 美由紀	小北 幸代	小路 理枝子	荻野 和泉	番場 あい	
	小牧 美恵	金久 由紀	前川 由香	有吉 加代子		
(丹後福祉会)	後藤 奈美子					
(北丹後福祉会)	野村 睦巳					
(社会福祉協議会)	田中 ちづる	吉岡 貴美子	森口 紀子			

◎社会福祉事業貢献者

◎ボランティア団体

戸石 進・元美 子育サロン ぽっぽ (歩・歩) クラブ ミュージック・アンサンブル花音



京都府社会福祉協議会会長表彰・感謝

◎社会福祉事業特別功労者

(あしぎぬ福祉会)	藤原 裕子	由利 與志子	藤本 友子	山添 純子	由良 則仁	野村 奈津子
(みねやま福祉会)	岩井 慶子	榎田 彩子	多賀野 三舟	吉川 祥太	榎田 言	大木 奈津美
	山本 芳	堀江 美名	室田 恵三	上羽 敏郎	中西 裕夏	玉井 忍
	徳田 里沙					
(丹後福祉会)	巽 恵津子	山本 敦子	梅木 啓司	安川 真帆	梅木 優子	野村 理恵子
	吉岡 義和	小石原 友里恵				
(北丹後福祉会)	能勢 直樹	井上 沙由香				
(社会福祉協議会)	岩淵 祐子	安田 抄頼	片西 政義	藤原 幹裕		

◎民生委員・児童委員特別功労者

今西 久野 伊藤 位豆子 井上 正治 藤村 文代 尾谷 利夫 杉原 尚仁 岩木 幸男
羽田 文代 松本 敏恵

◎社会福祉協議会活動功労者

羽賀 由之 淡路 則子 田中 実 吉岡 浩子 長砂 厚子 松本 貞巳 川口 保子 山口 裕司
森 眞一郎 藤田 昌子 森岡 夕子 芝野 吉実 田村 美乃枝 廣谷 千代子

◎ボランティア功労者

ボランティアサークル ゆうた&こうた ハミング・バード

◎優良小地区社会福祉協議会

三重地区社会福祉会

◎社会福祉事業協力者(感謝)

澤田 恭幸 吉岡 厚司 梅田 茂昭 株式会社日進製作所グループ



京都府共同募金会会長表彰・感謝

◎法人・団体寄付

奥滝電気株式会社



共同募金運動 80 回記念特別感謝

相政株式会社	社会福祉法人あしぎぬ福祉会	株式会社梅田製作所
有限会社岡島三協製作所	株式会社川戸鉄工所	有限会社京都府峰山自動車学校
京都プラス精機株式会社	株式会社積進	株式会社タック谷津
丹後ちりめん株式会社	等楽寺	徳昌寺
医療法人 中江医院	福昌寺	株式会社マルキ建設
峰山商業開発株式会社	株式会社紫野和久傳京丹後久美浜工房	森建設株式会社
森電気工業株式会社	安井医院	株式会社吉岡商店

※第75回京都府社会福祉大会冊子より



地域のつながりづくりを応援する 地域共生ステーション



子どもたちの「できる」を地域の力に 大宮地域共生ステーションの活動

大宮地域共生ステーションでは、大宮南小学校6年生の丹後学の授業で、地域で行われているサロン活動や、福祉の視点から見た地域の良いところや課題について出前講座を実施しました。

授業では、話を聞いて感じたことや自分たちにもできることについて意見を出し合い、「サロンや行事を広報するポスターやチラシなら自分たちにも作れるのではないか」という声が上がりました。

そんな思いを地域活動につなげようと考えていたところ、本会に対して峰山町安区から防災講座のチラシ作成の依頼があり、大宮南小学校6年生の子どもたちにチラシ作りを依頼しました。

子どもたちは、グループごとに見やすさや参加したくなるデザインを考えながら、意見を出し合いチラシ作成に取り組みました。

完成したチラシを見た区長からは、「素敵なチラシがで

きて嬉しい、ありがと」と喜びの声が聞かれました。また、子どもたちからも、地域のために他にもできることをやってみたいという声がありました。

今回の取り組みは、子どもたちが地域について学ぶだけでなく、自分たちにもできることを実際の地域活動につなげる機会となりました。子どもたちのアイデアや力が地域の中で生かされることで、地区や世代を超えたつながりが生まれています。



完成したチラシを手にする6年生

多様な世代の「想い」を地域の力に 弥栄地域共生ステーションの活動

弥栄町の、鳥取区・木橋区・和田野区の3地区からなる「いやさかTOKIWA協議会」にはまちづくり企画部があり、地域の課題解決にむけた懇談会やワークショップなど、さまざまな事業を実施しています。

部会では、若い世代の想いや意見を聴くため、昨年度の女性の懇談会に続き、今年度は消防団等で地域を支える若い世代の男性との懇談会を開催しました。

10年先・20年先を見据え、「これからどんな地域でありたいか」という将来像や、現状の課題について意見が交わされ、担い手不足の状況における、農業や地区の役の在り方、子育て環境に対する想いなどの意見が出されました。

また、民生委員・児童委員と福祉委員の懇談会では、お互いの活動について共有したり、区ごとの活動をヒントに3地区協働で取り組めること

を探ったりと、熱心に話し合いがされています。

「いやさかTOKIWA協議会」では、これらの取り組みを多くの人に知ってもらおうと考え、インターネットでの発信を検討しました。

弥栄地域共生ステーションでは、インスタグラムの開設に協力し、進学や就職等で地元を離れた若者などにも活動の様子を届けられるようになるなど、協議会を伴走支援することで、多世代の意見や想いを地域づくりに反映できるよう活動しています。



年1回行う民生委員と福祉委員の懇談会

【地域共生ステーションとは】 市民局と地域公民館、地域コミュニティ・にぎわいづくり課、社会福祉協議会が連携し、地域づくりを支援する仕組みです。本会では、支所にコミュニティソーシャルワーカー（CSW）を配置し、地域の困りごとや支援の必要性に気づく窓口となるほか、住民主体の地域づくりを支援しています。



善意のご寄付

あたたかいお気持ちをいただき、ありがとうございました。
(令和8年7月1日～令和8年8月31日受付分)

地域福祉事業へ

株式会社ベルマリエ様（通算 241 回目）	6,000 円
□大野高砂地区子供会様	3,624 円
匿名様	3,000 円

釣銭の一部を寄付

井十郎商店お客様（網野町）	8,971 円
小市郎商店お客様（丹後町）	6,854 円

寄付控除について

京丹後市社会福祉協議会への寄付は、税額控除（所得税、住民税・相続税）の対象になります。詳しくは、各支所窓口にお問い合わせてください。

参加者募集

地域の居場所担い手養成講座 ～やさしいつながりひろげませんか～

ふらっと立ち寄れて、誰かとおしゃべりできて、心がふっと軽くなる…そんな“居場所づくり”を学ぶ2日間の講座です。



日時 10月17日（土）・31日（土） 2回連続講座
いずれも 10:00～11:30

内容 【1日目】 基礎講座・ミニ交流会
【2日目】 活動紹介・ミニ交流会

会場 京丹後市峰山庁舎 2号館（3階）234会議室
京丹後市峰山町杉谷 889

定員 18名（先着順）

申込 網野支所
(0772-72-0797)

詳しくは
こちらを
ご覧ください。



子どもの成長を応援する “おもちゃ図書館”開設

子どもたちが安心して遊べる環境づくりを応援するため、家庭で使えるおもちゃ・子ども用品を無料で貸し出します。



利用対象

- ・京丹後市在住
- ・里帰り出産・育児で市内に滞在している人

開始時期 10月5日（予定）

貸出期間 2週間

借用申込

峰山支所（0772-62-4128）
または、大宮町福祉会館内で開催の「あそびの広場（毎週月曜日）」

食品や日用品の寄付をお願いします。

家庭または事業所等で、余った食品・日用品を生活に困っている世帯に無料で配付しています。ぜひ下記の受付窓口までお持ちください。

米・食品 賞味期限が2ヶ月以上の未開封・未使用・常温で保存可能なもの ※酒類（ノンアルコール飲料含む）、自家製食品（みそ、漬物等）、野菜は不可。

日用品 マスク・消毒液・生理用品・おむつ ※未使用・未開封のもの

受付窓口 京丹後市社会福祉協議会本所又は各支所窓口

問合せ先 本所（0772-65-2100）

職員の退職

【ふくじゅ】

令和8年4月30日付

由良 恵美

令和8年8月31日付

時田 威
伊東 茉生

発行／社会福祉法人 京丹後市社会福祉協議会

〒627-0111 京都府京丹後市弥栄町溝谷 3464 TEL 0772-65-2100 FAX 0772-65-3294
E-mail: info@kyotango-shakyo.jp

社協HP



Instagram



Facebook



LINE



ふくじゅ



峰山支所（市峰山庁舎2号館内 TEL62-4128）
大宮支所（市大宮庁舎内 TEL64-2037）
網野支所（網野健康福祉センター内 TEL72-0797）
丹後支所（市丹後庁舎内 TEL75-0808）
弥栄支所（市弥栄庁舎内 TEL65-2100）
久美浜支所（市久美浜庁舎内 TEL82-0008）